

平成 29 年度東三河地域問題セミナー

第 2 回 公 開 講 座 の ご 案 内

東三河地域問題セミナー(第2回公開講座)を下記のとおり開催いたしますので、ご参加ください。

1. 日 時 平成30年4月10日(火) 午後2時00分～午後4時30分
2. 場 所 豊橋市民センター(カリオンビル) 6階 多目的ホール
(住所:豊橋市松葉町二丁目63番地、電話:0532-56-5141)
3. テ ー マ 人口減少時代のまちづくり手法 ～高松丸亀町商店街を事例に～
高松丸亀町商店街振興組合 理事長 古川 康造 氏
(内閣官房 地域活性化伝道師)
4. 参 加 費 無料

愛知県東三河地域(8市町村)の人口は、2015年現在、75万8千人ですが、その玄関口となる豊橋駅前では、近年、「こども未来館(ここにこ)」や「穂の国とよはし芸術劇場(プラット)」などの公共施設のほかに、昨年3月に竣工したココラハウス駅前大通三丁目(地上17階)などの民間の都市型集合住宅が、次々と建てられ、風景が様変わりしています。

こうした中、豊橋駅前では駅前大通2丁目にある名豊ビルと開発ビルの再開発計画が本格化しています。また、豊橋市では平成29年3月に「豊橋市立地適正化計画～都市機能誘導区域編～」を策定し、豊橋駅前を「都市機能誘導区域(都市拠点)」と設定し、さらに同時期に「豊橋市ストリートデザイン事業基本計画」を策定するなど、豊橋駅前への都市機能の集約化、機能連携・接続強化を図っています。

このように、豊橋駅前で新しいハード機能が整備されコンパクトシティの志向が進みつつある中で、中心市街地の活性化を今一度考えてみる必要があると思われます。そこで、今回のセミナーでは、香川県の高松丸亀町商店街振興組合 理事長 古川様(内閣官房 地域活性化伝道師)に、同商店街において、定期借地権の導入で「土地の所有と利用の分離」をはかり、まちづくり会社によるエリアマネジメントを実践するなど、衰退した商店街の再開発事業を軌道に乗せたきっかけ・計画や枠組み・体制づくりなどの手法を教えていただくと同時に、現在の地方都市の中心市街地活性化で必要とされる考え方等を、これまでのご経験からご示唆頂きます。

是非、皆様、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

◆出欠のご連絡を4月5日(木)までにFAXもしくはE-mailにてお送り下さい。

公益社団法人 東三河地域研究センター 行 FAX:0532-57-3780 E-mail:webmaster@hrrc.jp
東三河地域問題セミナー(平成29年度第2回公開講座) 出欠票

ご出席 　　　　　 ご欠席

お問合せ(公社)東三河地域研究センター 住所 愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地 TEL 0532-21-6647

団体名・会社名		
ご所属・お役職名		
お名前		
連絡先	T E L F A X E-Mail	T E L F A X E-Mail